

New
Canon
キヤノネット
28

使用説明書



J

キヤノネット28をお買上げいただきありがとうございます。
す。

このカメラはニューキヤノネットシリーズの普及型として、簡単な操作で昼夜にかかわらず、楽しい撮影が続けられるすぐれた機構をもっています。お使いになる前にこの説明書をごらんいただき、その性能を充分にご活用ください。

同封のカードは、フィルムのつめ方とEE撮影の手順を示しています。

カメラとケースの間に差込むか、定期入れの中に入れて常にお持ちいただければ便利です。

なくさないように注意しておつかい下さい。

■ 目 次

水銀電池をつめる.....	6
ASA感度を合わせる.....	8
EE撮影.....	9
フラッシュ撮影.....	13
フィルムの巻戻し.....	18



- ① A(オート)マーク
- ② EE-フラッシュ切換えリング
- ③ フォーカシングリング
- ④ ASA感度セットレバー
- ⑤ ファインダー窓
- ⑥ 巻戻しクランク
- ⑦ アクセサリーシュー
- ⑧ フィルム枚数計
- ⑨ シャッターボタン
- ⑩ レリーズ ソケット



- ⑪ フィルム巻上げレバー
- ⑫ ファインダー接眼窓
- ⑬ フィルム送り確認窓
- ⑭ 水銀電池室
- ⑮ 三脚穴
- ⑯ 巻戻しボタン

■ キヤノネット 28の性能

レンズ；キヤノンレンズ40mm F 2.8 3群4枚構成 スペクトラコーティング 画角57°

シャッター； $\frac{1}{30}$ 秒 F2.8～ $\frac{1}{620}$ 秒 F14.5プログラムシャッター
焦点調節；前玉回転による2重像合致式距離計連動

EE機構；CdS使用のプログラムEE 電源はH-D型水銀電池1個使用

EE連動範囲；ASA 400 $\frac{1}{30}$ 秒 F 2.8～ASA25 $\frac{1}{620}$ 秒 F 14.5 ASA 100でEV8～17, 連動範囲外ではシャッターボタンロック

フィルム感度目盛；ASA25～400

フィルター補正；自動

フラッシュオート機構；キヤノライトD使用によりEEのまま
で距離合せに連動する自動露出機構

フラッシュ接点；A（オート）マークをはずすと自動的に $\frac{1}{30}$ 秒にセット

シンクロ接点；X接点

ファインダー；採光式マークファインダー パララックス補正マーク 視野枠 倍率0.6X 視野内にシャッタースピードおよび警告マークを表示

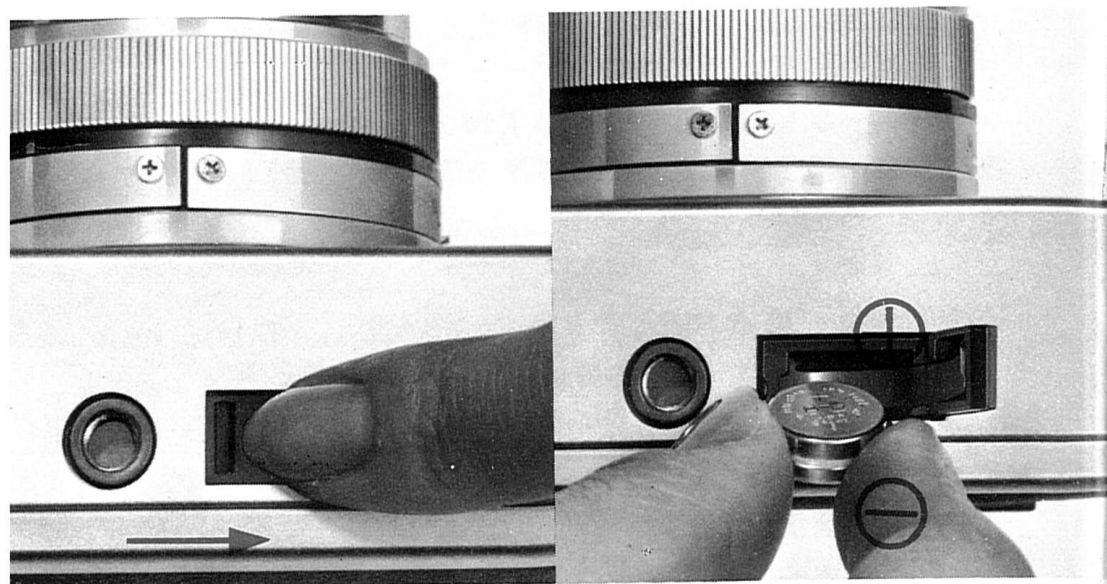
フィルム装填；多スリットスプール使用の簡易装填

フィルム巻上げ；1操作レバー式 巻上げ角127°

フィルム枚数計；順算式1コマ送り 自動復帰

大きさ・重量；120.5×75×61mm・540g

■ 撮影に入る前に



水銀電池を入れてください

1. カメラ底部の水銀電池室カバーを矢印の方向に押しなが
ら引起こすと、カバーが浮上がって開きます。

2. 水銀電池を入れてください。テープが電池の下側にな
るように入れてください。

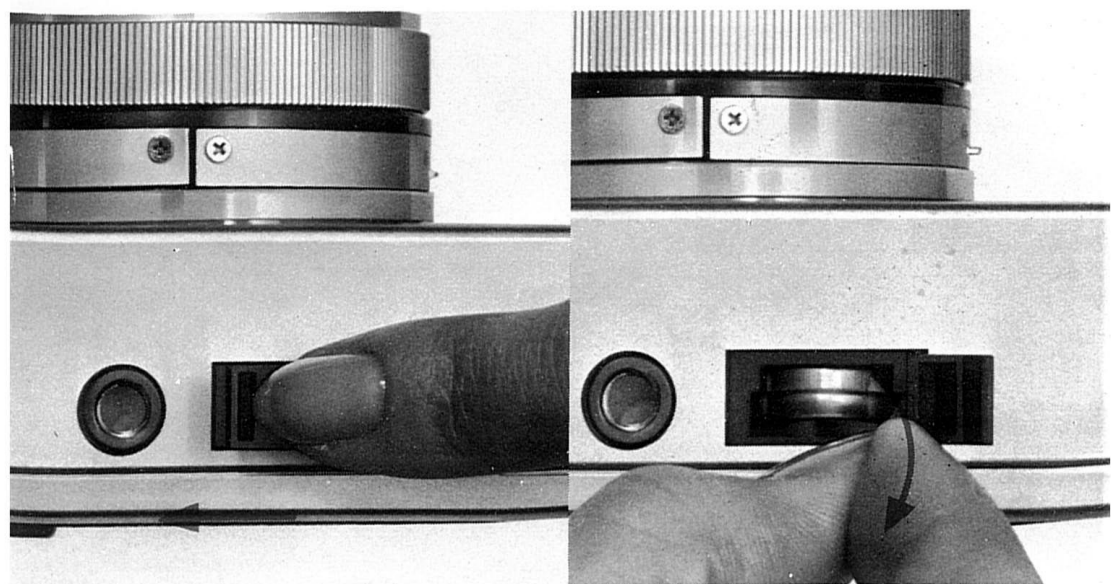
※水銀電池は反対向きには入らないようになっています。

3. カバーを押しつけて閉じます。

水銀電池について

● 役目は——水銀電池を入れ忘れると、露出計がはたら
かず、EE撮影もフラッシュオート撮影もできません。

● 寿命は——普通一年から一年半もちます。露出計の針
が動かなくなったら、新しいものと交換してください。



●どこで買ったら——カメラ店にあります。水銀電池にはいろいろな種類がありますから、このカメラの場合はJIS（日本工業規格）H-D型1.3Vを、お求めください。これは米国製MALLORY・PX-625、EVEREADY・EPX-625に相当します。

同一銘柄で、性能のよいものをお選びください。

●気をつけることは——水銀電池は汚れをきらいます。入れるときは汗や指紋をつけないようにしましょう。汚れたまま入れておくと接触不良によりメーターが作動しないことがあります。またカメラ側の電気接点が腐蝕されていたんでしまうおそれもあります。

●つめかえは——水銀電池室のカバーを開いてテープを引くと電池が出てきます。



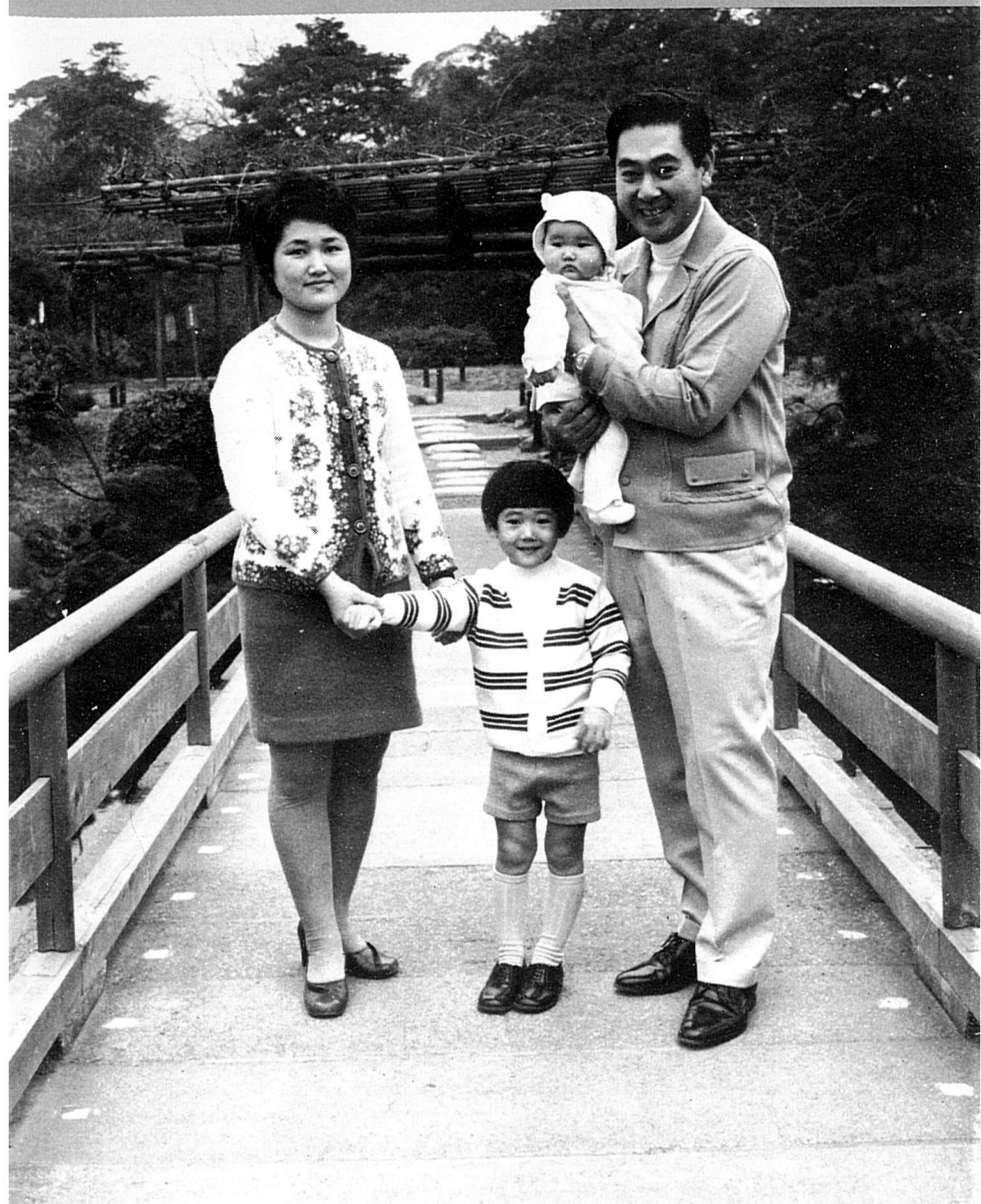
ASA感度を合わせましょう

ASA感度セットレバーを押しつけながら動かして、フィルム外箱に明示されている数値にセットします。

ASAの数字の間にある点はそれぞれカッコ内の数値を示しています。

(32)(40) (64)(80) (125)(160) (250)(320)

ASA 25 · · 50 · · 100 · · 200 · · 400



EE撮影

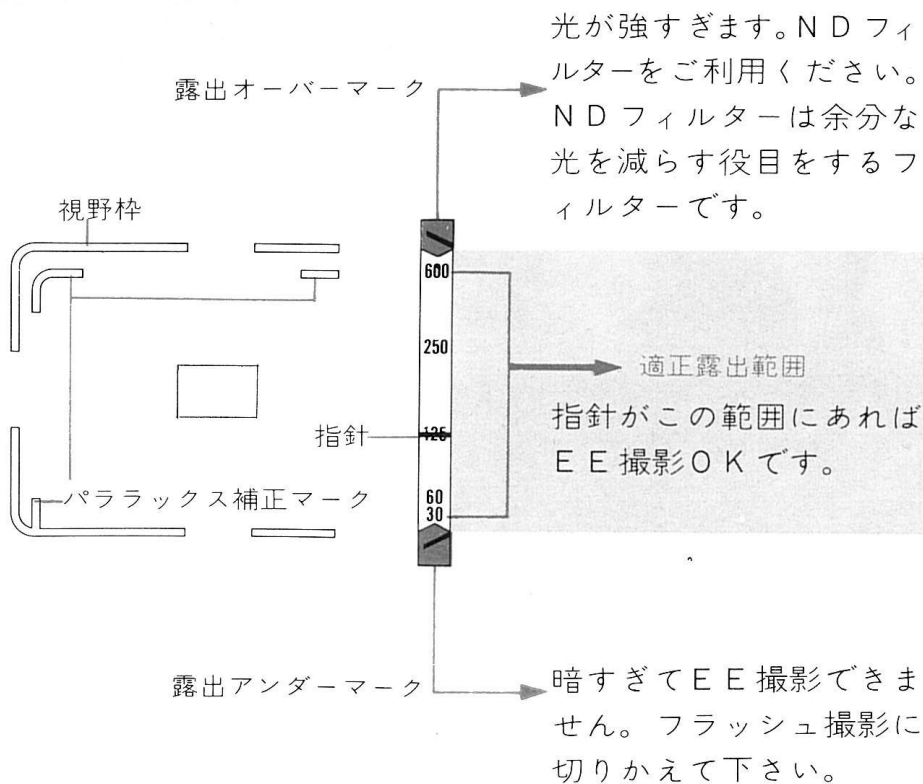


1. まずA（オート）マークにセットします

EE—フラッシュ切換えリング上のAという赤い文字を指標に合わせます。これで写したいものの明るさにあったシャッターと絞りが自動的に決められるEE撮影の準備ができました。

2. ピントを合わせる

レンズはカメラから被写体までの距離によってピントを結ぶ面が違います。ピントの合った写真を写すためには、ファインダーをのぞいてフォーカシングリングを回し、中央の黄色の部分で二重像がピッタリと一致するように合わせます。



3. 撮影情報はファインダーでわかります

ファインダー内には撮影に必要なあらゆる情報が集められています。ファインダーの指示どおりに撮影をすすめれば、どんな場合でも適正露出のきれいな写真が写せます。

●EE撮影の安全装置

指針が適正露出範囲にないときはシャッターがきれません。

■ EE撮影



4. 構図の決定

白い枠の中が写される範囲です。ただし1m以内に近づいて写すときは、パララックス補正マーク内で構図を決めてください。

5. シャッターボタンを押すときの注意

- シャッターボタンはブレないように深く静かに押してください。
- カメラを構えるときは両方または少なくとも片方のひじを体にぴったりつけ、カメラを額につけて固定するとブレが防げます。

6. フィルムの巻上げ

巻上げレバーをいっぱいに戻すと撮影済みのフィルムが一コマ分送られ、つぎの撮影の準備ができます。フィルム送り確認窓でフィルムが正しく送られているか確かめてください。

■ フラッシュ撮影

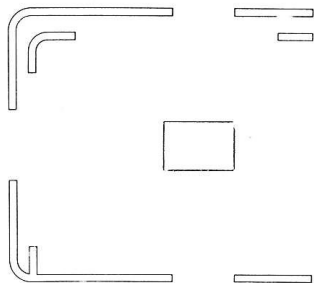


■ フラッシュ撮影



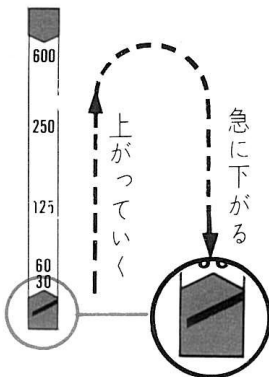
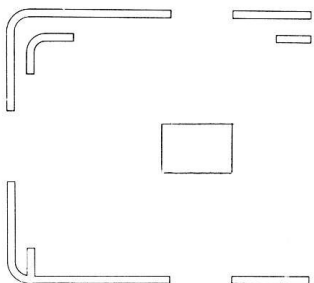
キヤノライトDの場合

1. EE-フラッシュ切換えリングはA(オート)のままです。
2. キヤノライトDをアクセサリシューに取付けます。
3. キヤノライトDのスイッチをONにします。
4. キヤノライトDのネオンランプが点灯しているか確認します。点灯していれば撮影準備OKです。
5. ピントを合わせます。距離に応じて自動的に露出が決まります。

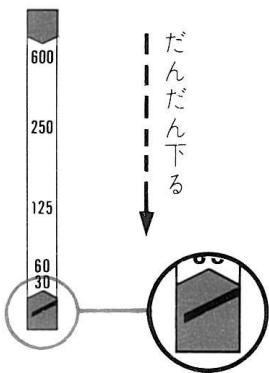
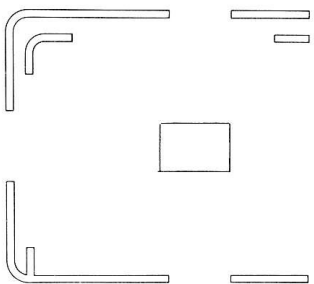


適正露出範囲

指針がこの範囲に
あればフラッシュ
EE撮影OKです

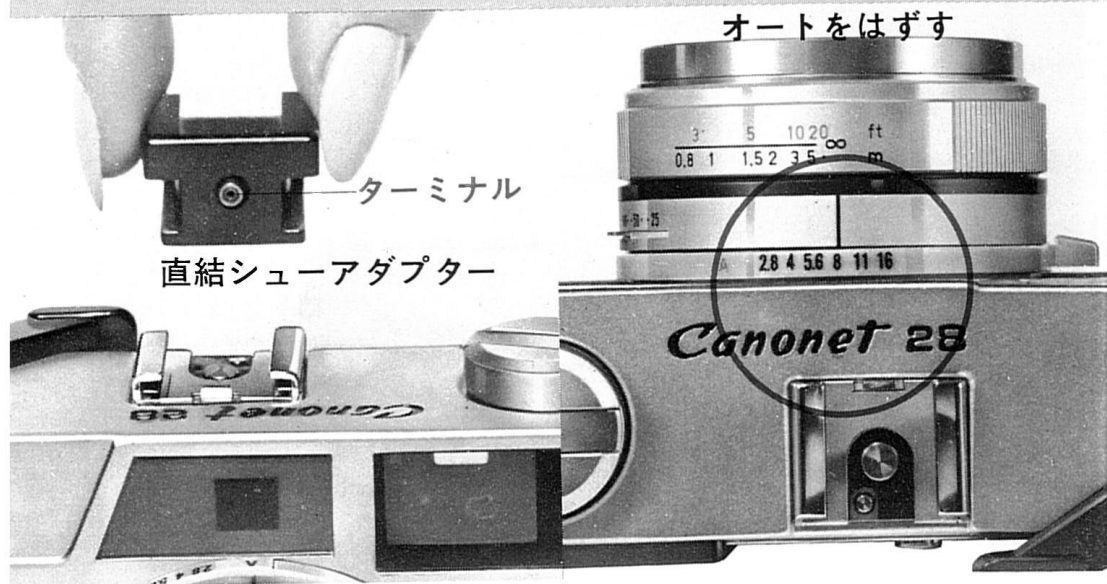


近すぎて不適正
被写体から遠ざかる



遠すぎて不適正
もっと被写体に近づく

■ フラッシュ撮影



その他の発光器の場合

1. 直結シューアダプターに発光器を取付け、コードの先端をアダプターの前部のターミナルに差しこみます。
2. アクセサリーシューに直結シューアダプターを取付けます。
 - 直結接点のついているものは直結シューアダプターを使う必要はありません。そのままアクセサリーシューに取付けてください。
3. EEフラッシュ切換えリングを回してA(オート)をはずします。シャッターは自動的に $\frac{1}{30}$ 秒にロックされます。

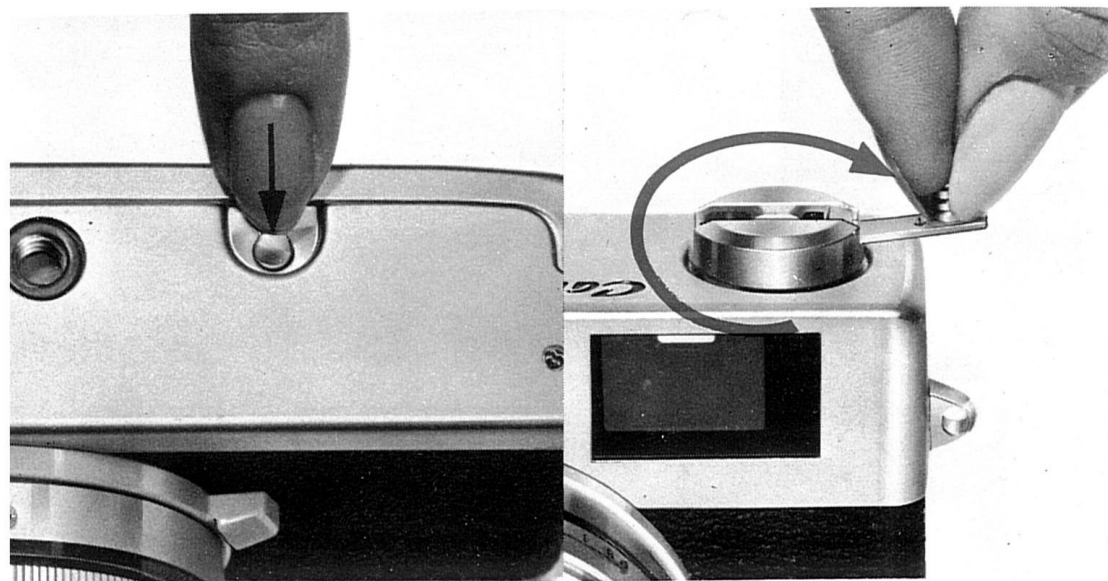


4. ピントを合わせて距離を読みとり,ストロボまたはフラッシュバルブのもつガイドナンバーから絞りを算出し,指標にセットします.

$$\text{絞り} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{距離}}$$

- ガイドナンバーはバルブの外箱またはストロボの説明書に明記されています.
- ガイドナンバーにはメートルとフィートがありますから注意してください.

■ フィルムの巻戻し

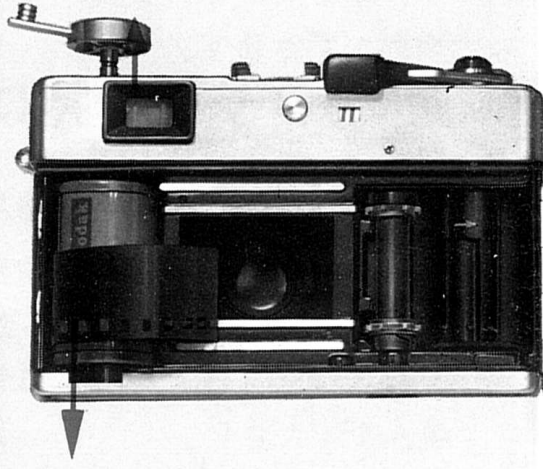
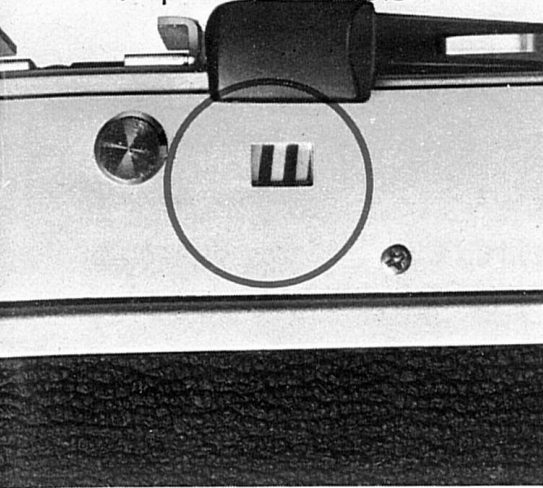


フィルムがなくなると巻上げてもレバーが動かなくなりますから、フィルム枚数計で全コマの撮影が終ったことをたしかめます。

撮影中のフィルムは裸で送られていますから、そのまま裏蓋を開くと光が入って、折角撮影したフィルムがだめになってしまいます。必ずパトローネの中に巻戻してから取出してください。

1. 巻戻しボタンを押込みます。
2. 巻戻しクランクを起こして矢印の方向に回してフィルムを巻取ります。フィルム送り確認窓の紅白の縞が動かなくなったら巻戻し完了です。

フィルム送り確認窓



3. 巻戻しノブをいっぱいに引上げ，裏蓋を開いてパトローネを取出します。
- フィルム枚数計は裏蓋を開くと同時にS（スタート位置）に戻ります
 - 巻戻しボタンは巻上げレバーを回転させるともとに戻ります。

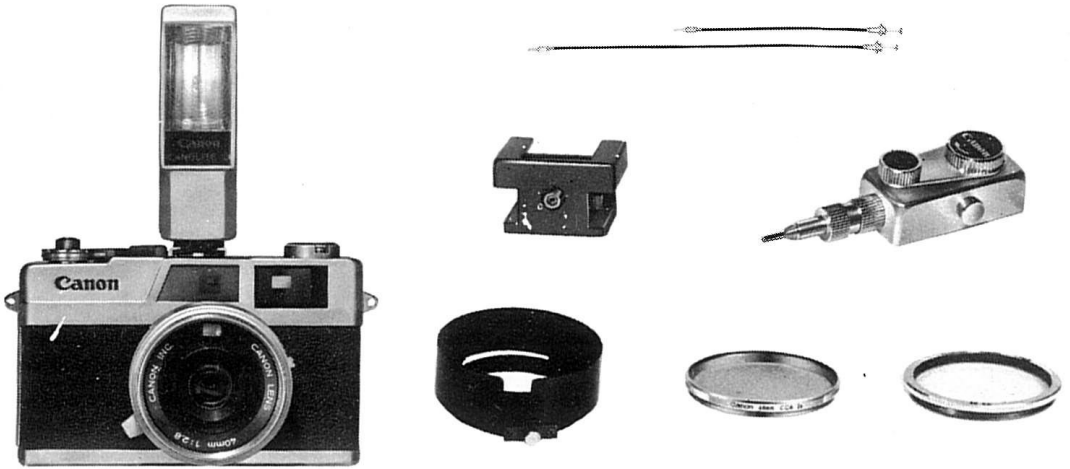
■ フィルターを使うときは

明るさを測るCdS受光窓もいっしょにカバーされますから、露出補正という面倒な操作は必要なく、そのままEE撮影ができます。

■ カメラの保持についての注意

1. カメラを高温の場所に放置しないでください。車のリヤウィンドーやトランクの中は60℃以上になることがあり、カメラ故障の原因になりますから絶対さけてください。
 2. カメラを保存する場所は低温で湿気の少ないところを選んでください。
 3. カメラをしまっておくときは水銀電池を抜出してください。長い間入れたまましまっておくとカメラ側の電池接点をいためるおそれがあります。
 4. レンズに指をふれないように扱ってください。指紋がついてしまったらレンズクリーナーで拭きとるか、シリコンクロスでそっと拭いてください。
 5. カメラを長期間しまったままで使わないと、レンズにカビが生えるおそれがあります。適当にカメラを使うことはカメラを長持ちさせる最もよい方法です。
6. 新しい水銀電池をお求めの際には、直接的な害はありませんが万一の汚染に備えて、使用済みの水銀電池と引き換えのうえ、お求めください。絶体に捨てないようお願いします。

■ キヤノネット28のアクセサリ



キヤノライト D(ケース付)

48mm フィルター各種

Y₁, Y₃, O₁, G₁, R₁, UV, CCA12, CCA4, CCA8, CCBI2,
CCB4, CCB8, スカイライト, ND4, ND8

キヤノンレリーズ30 (簡易ロック機構付)

キヤノンレリーズ50 (簡易ロック機構付)

直結シューアダプター

セルフタイマー8

レリーズ穴に取付けて使います。スタートボタンを押してから約10秒後に自動的にシャッターが切れます。

Canon

キヤノン株式会社

東京都中央区銀座5-9-9 千104 ☎ (03) 572-4251

キヤノン販売株式会社

東京都品川区東五反田1-13-12 千141 ☎ (03) 449 2111

東京営業所	・(141) 東京都品川区東五反田1-13-12	(03) 449-2111
大阪営業所	・(541) 大阪市東区瓦町5-39(大阪仕城会館3階)	(06) 202-6761
名古屋営業所	・(466) 名古屋市昭和区阿由知通4-13(朝日生命ビル6階)	(052) 851-4551
サービスステーション		
銀座	・(104) 東京都中央区銀座5-9-9	(03) 572-4251
大阪	・(530) 大阪市北区梅田2(第一生命ビル2階)	(06) 341-9335
名古屋	・(450) 名古屋市中村区堀内町4-1(毎日会館2階)	(052) 581-3811
営業所・サービスステーション		
札幌	・(060) 札幌市中央区北三条西4-1(第一生命ビル4階)	(011) 231-1313
仙台	・(980) 仙台市一番町1-1-30(やまと生命仙台ビル6階)	(022) 66-4151-7
新潟	・(950) 新潟市東大通1-4-1(マルタケビル7階)	(0252) 46-0131-3
横浜	・(231) 横浜市中区南仲通り4-39(石橋ビル1階)	(045) 211-1691
千葉	・(280) 千葉市千歳巷4-3(千葉専私学会館4階)	(0472) 43-9648
大宮	・(330) 大宮市桜木町4-218(共栄ビル2階)	(0486) 41-9122
静岡	・(420) 静岡市鷹匠2-7-2(静本会館1階)	(0542) 55-2241
京都	・(600) 京都市下京区四条通東洞院角(富国生命ビル4階)	(075) 211-1388
金沢	・(920) 金沢市高岡町2-37(不銀ビル5階)	(0762) 63-0351
岡山	・(700) 岡山市平和町4-7	(0862) 22-8228
広島	・(730) 広島市小町2-30(第2有楽ビル4階)	(0822) 44-4615
福岡	・(812) 福岡市博多区博多駅前4-20-23(セントラルビル1階)	(092) 411-4172

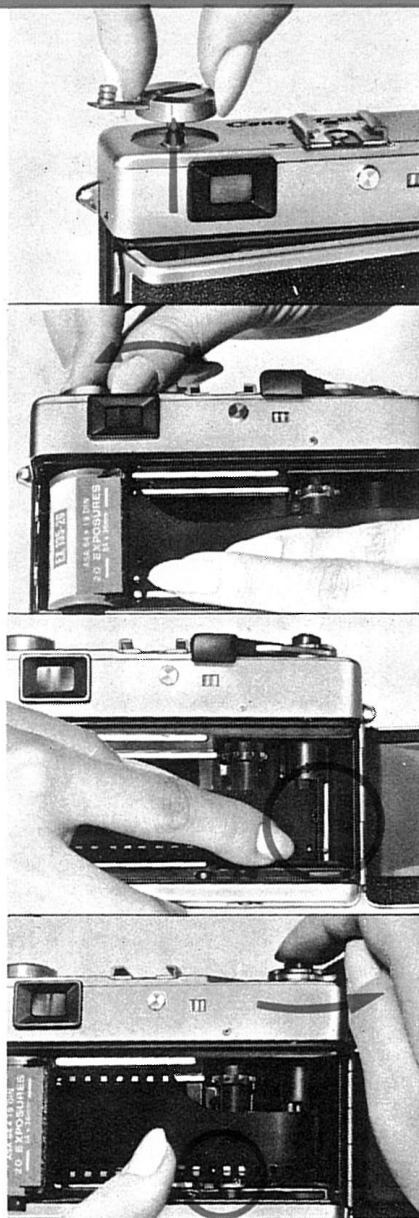
フィルムのつめ方

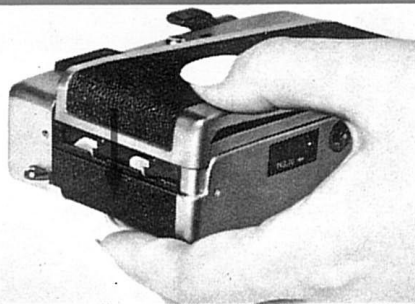
1. 巻戻しノブを起して引上げ、さらに持上げると裏蓋が開きます。

2. フィルムのパトローネをフィルム室に入れ巻戻しノブを押し下げ、パトローネ軸にさしこんで保持します。

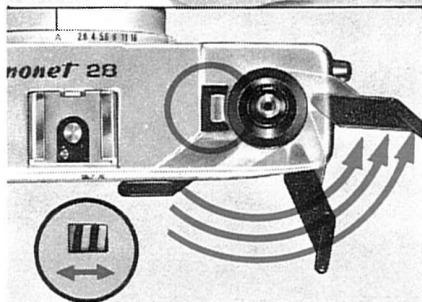
3. フィルムを少し引出して先端をスプールの溝に軸の中心部までさしこみます。

4. 溝ざわの突起とスプロケット(歯車の歯)にパーフォレーション(フィルムの孔)を確実に噛み合わせるように注意しながら巻上げレバーを回し、フィルムを巻取り軸に一回転巻きつけます。



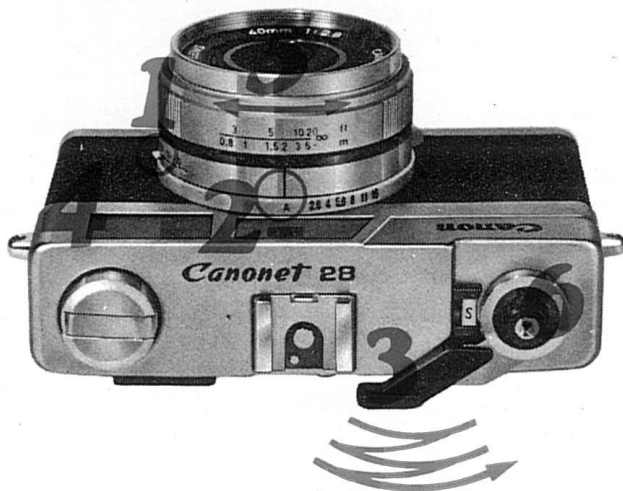


5. パトローネの向きが正しく入っていることを確認してから裏蓋を押しつけて閉じます。



6. レバーを動かなくなるまで続けて巻上げ、フィルムを送ります。フィルムが正しく送られているときはフィルム送り確認窓で紅白の縞が動きます。動かないときはフィルムが送られていませんからつめ直してください。レバーが動かなくなったら1枚目の撮影準備OKで、フィルム枚数計は1を表わす(・)を示しています。

EE 撮影手順早わかり



1. ASA感度を合わせます。
2. オートにセットします。
3. フィルムをレバーが止まるまで巻上げます。
4. ファインダー内を確認。指針が下の赤マークに入ったときは専用ストロボ〈キャノライトD〉を用いてフラッシュオート撮影。
5. ピントを合わせます。
6. シャッターを切ります。